

内覧会に参加しました

当院の大垣院長が、2026年2月28日に「医療法人 すみだ会 こころの杜ホスピタル（旧医療法人 住田病院）」の内覧会に参加いたしました。

住田 Dr.(理事長で、若松区医師会の監事)から院内を詳しく丁寧にご案内していただきました。

精神科専門病院ならではのアイデアや優しさが随所に散りばめられており、とても感心しました。

また、精神科救急を標榜し、地域の急性期精神疾患へ24時間365日体制で対応していることは、当院に相通ずるものがありました。

さらに、51床の認知症治療病棟があり、認知症で在宅生活が困難で、医療的なケアが必要な患者さんが、期限を設けずに終の棲家(ついのすみか)として生活できる環境になっているのは、今後の認知症患者さんの1つの選択肢になりうるものと思います。

「こころの杜ホスピタル」は、認知症をはじめとする「こころ」の治療に取り組み、地域の精神保健の中核を担う存在として、より開かれた精神医療を実践されている病院です。また、精神科救急にも力を入れておられます。認知症医療にも注力されており、51床の認知症治療病棟を備え、グループホームのような温かみのある空間づくりがなされていたとのことでした。

当院開業の際には、理事長の住田先生よりコチョウランをお贈りいただき、その後も継続して連携を図らせていただいております。近隣にこのような頼もしい病院があることは、大変心強く感じております。

この度は貴重な機会をいただき誠にありがとうございました。今後も引き続き連携を深め、地域医療に貢献できるよう当院も努めてまいります。

